

# 情報機器を活用した生活科学習

桜ヶ丘小学校

## 1 単元名 あしたへジャンプ～わたしの記録を作ろう～

### 2 単元の目標

誕生から現在までの成長を振り返り、成長を喜ぶとともに、自分の成長を支えてくれた家族や周囲の人々に感謝の気持ちを持ち、「これからもがんばろう」とする意欲を持つことができるようにする。

自分の成長に関心を持ち、進んで情報を集めることができるようにする。

自分の思いを伝えたり、集めて情報をまとめるために、自分なりの表現方法に気づくことができるようにする。

### 3 単元の活動計画・評価計画

活動計画	評価計画			
小単元名・ねらい (時数)	主な活動(時数)	生活への関心・ 意欲・態度	活動や体験につい ての思考・表現	身近な環境や自分 についての気づき
(1)大きくなった わたしをたしか めよう。 自分の成長に関 心を持ち、成長 の様子を調べ ることができるよ うにする。	自分や友だちの小さい頃のVTRや写真を見せ合う。 ・気がついたことを話し合う。 ・もっとくわしく自分の成長を確かめられる方法はないか考える。 友だちに紹介するための準備をする。 自分の成長を紹介しよう。 (本時4 / 4)	自分の小さい頃のことに関心を持ち、家の人や周囲の人々に話を聞いたり、思い出の品物を探したりして、意欲的に調べようとしている。  進んで紹介したり、友だちの紹介を聞こうとしている。	紹介するために必要なことを、家の人や周囲の人に聞くことができる。  自分が集めてきた情報や、思い出の品物を使って、成長がわかるように紹介できる。	自分の小さい頃のことを調べることを通して、自分の成長に気づいている。
(2)「自分の記録」 を書く準備をし よう。	なにをどのように書くか、計画を立てよう。 幼稚園(桜ヶ丘幼稚園)を訪問しよう。  1年生の教室を訪問しよう。		自分の成長の記録を書くために必要なできごとを、自分の成長歴の中からいくつか選ぶことができる。 幼稚園を訪問して、自分の記録の一つとして、なにを書くかを定めることができる。 1年生の教室を訪問して、自分の記録として何を書くかを定めることができる。	
(3)「自分の記録」 を書こう。 自分の立てた計画に従って、記録を書くことができるようにする。 自分の成長を知って、喜ぶと共に、それを支えてくれた家族や周囲の人々に感謝の気持ちを持つことができるようにする。 感謝の気持ちを相手に伝えることができるようにする。	「自分の記録」を書こう。 ・自分の立てた計画に従って、「自分の記録」を書く。 ・書きあがったカードを、生育歴順に並べて、表紙をつけて閉じる。 書いた作品を見せ合おう。 ・「自分の記録」の中で、一番気に入っている場面を一つ選んで発表する。 お世話になった人たちに、お礼の手紙を書こう。	「自分の記録」の完成をめざして、熱心に取り組んでいる。 自分が表現したい事柄について、資料を探したり、家族や周囲の人、先生に尋ねたりして、できるだけ正確に「自分の記録」を書こうとしている。	発表者の良いところを挙げて、感想を言うことができる。 「自分の記録」の中から一場面を選び、全員の前で発表することができる。	
(4)もうすぐ3年 生	3年生の教室を訪問しよう。 教室をきれいにしよう。	自分が使った机やいすなどの清掃を、心を込めてしている。	3年生の教室を訪問して、どんな学習をするのかを観察することができる。	

#### 4 情報教育の視点

発表時には、写真、ペープサート、紙芝居、巻物、すごろく等今まで使っていたメディアだけでなく、デジタルカメラ、VTR、カセットテープレコーダーなど新しい方法を知らせ、触れさせ、児童が表現にしたいメディアを可能な限り活用させたい。いろいろな方法にふれ、慣れ、親しむことで、これからの自分なりの表現方法に広がりを持たせたい。また、学習支援の道具としてのコンピュータの活用可能性と方向性を探る中で、本単元では、生まれてから今までの成長を振り返り、自分の調べたことを自分なりに表現したり、記録をまとめたりする道具としてコンピュータを活用させたい。子どもたちの欲求である「コンピュータをたくさんさわりたい」を取り上げ、「こんな場面で、こんなふうを使うこともできる。」という経験をさせたい。集めてきた資料をコンピュータに保存したり、保存した資料をすぐに取り出し、作り直したりして、再び活用できるコンピュータの良さにも気づかせたい。ディスクに保存することによって、他の学年での学習の資料としても使える可能性も忘れがたい。しかし、2年生という児童の発達段階においては、基本的に手書きの絵と文で仕上げていきたい。コンピュータを使うことで、データの使いやすさと共に、使われやすさ、プライバシーの保護についても、発達段階に応じて認識させていきたい。

#### 5 本時の学習活動

##### (1) 目標

自分の成長に関心を持ち、自分の成長の様子を紹介することができるようにする。

【関・意・態】 自分の成長の様子を楽しんで紹介したり、友だちの紹介を進んで見たり聞いたりしようとしている。

【思考・表現】 自分が集めてきたインタビューメモや資料を使って、自分の成長がわかるように紹介することができる。

【気づき】 自分や友だちの成長に気づいている。

##### (2) 活動への配慮

前時までに、家庭と連絡を取り、十分な取材を行わせ、そのときの状況だけではなく、家族やまわりの人々の気持ちも聞き取らせておくようにする。

本時では、紹介の時間を十分確保し、紹介したり聞いたりすることを十分楽しめるような雰囲気を作りたい。その満足度が、自分の成長への気づきのまとめという次の意欲につながるものとする。

##### (3) 展開

##### 評価の観点

主な学習活動	教師の支援と評価	資料・準備
1 学習の準備をする。	インタビューカードや小さい頃を思い出させるものが並べられるよう助言する。	インタビューカード
2 本時のめあてを知る。		各自の思い出の品 VTR カセット
<b>自分が赤ちゃんのころのことを、しょうかいしあおう</b>		
3 調べてきた自分の成長の様子を紹介し合う。  班の友だちと紹介し合う。	紹介時に気をつけることを理解できるようにする。紹介したいという意欲を持っている。また、聞く姿勢ができていいる。(行動・観察) 聞きたいことを質問させたり、感想を述べさせたりして、話し手と聞き手が関わり合いながら紹介ができていいる児童の良さを全体に広げる。うまく表現ができない子には、その班に行き、聞き役になる。おもちゃで遊んだり、服をあててみたりして、自分が大きくなったことがよくわかるような紹介をしている児童を認め、広めるようにする。自分の感想を入れている児童の良さを広めるようにする。家の人や周囲の人の思いを言わせたり、注意深く聞かせたりして、成長を支えてくれた人に目を向けられるようにする。自分と比較しながら聞いている児童を認め、広めるようにする。意欲的に紹介したり、聞いたりしようとして、発表に進んで関わりを持とうとしている。(行動・観察)(発言)	テープ プロジェクタ デジタルカメラ CCDカメラ モニターTV
4 思ったことやわかったことを発表し合い、次時への意欲を持つ。	紹介した感想(自分の気持ち)を発表し合えるようにする。自分の小さいころのことがよくわかってきた今、この後記録としてまとめていくことを話し合い、自分のことがもっとよく知りたいという意欲を高めることができるようにする。	

